



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標 「自ら学ぶ子供」

R8,4,21 No.3

郡築小ホームページ

「学習集会」を行いました

4月14日(火)の2校時に、体育館で「学習集会」を行いました。
今回は、全児童が見守る中、5年生が学習規律に係る模範を示し、授業づくり担当の教職員が随時解説する形で行いました。

最後の校長の話では、「この学習のルール(きまり)はなぜ必要なのか?」について、次の3点を伝えました。(本来はこの必要性について子供たちに考えさせたかったのですが、時間の都合上割愛し、校長の考えを伝えました)



○ みんなの「安心」のため

誰かが喋っていると、発表するのが嫌になったり、先生の話が聞こえなくて困ったりする人がいます。みんなが安心して勉強できるようにするためにルール(きまり)があります。

○ 「集中」して力を伸ばすため

スポーツはルールがあるから一生懸命になれます。勉強も同じで、ルール(きまり)があるからこそ、みんなが集中して勉強できます。そして、分かる・できるが増えていきます。

○ 居心地のよい学級にするため

わかまます放題だと、みんなが嫌な気持ちになります。ルール(きまり)を守る学級は、みんな仲良く楽しく過ごせる場所になります。(いじめも起きにくくなります)

先生から言われるから、学校全体で決まっているから、ルール(きまり)を守るのではなく、子供自らがその必要性を理解し、自ら遵守するようになってほしいと願っています。そういう自己指導能力をもった子供づくりに全職員で取り組みます。

「全校集会」を行いました

4月16日(木)、全校集会(校長講話)を行いました。今回は、今年度第1回目ということで、学校教育目標「自ら学ぶ子供」にまつわる話をしました。

「自ら学ぶことの必要性」や「達成に向けた具体的な取り組みについて」、「達成に向けた土台づくり(人づくり)について」(やつしろスピリッツ、自分の心に線を引く)プレゼンテーションしました。多くの子供は、話を聞く姿勢がよく感心しました。

今後、(子供たちが過ごす学校生活の大半の時間を占める)授業を中心に、「自ら学ぶ子供」づくりに学校総体で取り組んでいきます。



1年生、初めての給食

4月16日(木)は、1年生にとって小学校生活初の給食でした。

子供たちは、給食準備に係る担任の説明を聞いた後、実際の状況を再現したシュミレーションを事前に行いました。その甲斐あって、初めてとは思えないくらいスムーズに準備できました。そして、「いただきます」の言葉と共に、美味しく食べていました。



その準備の様子を見ていて感じたことがありました。それは、話の聞き方が、その後の動きの速い遅い、迷いや困り感の有無となって表れていたことです。

小学校では、まず「話している人の方を向く、手を膝に置く」など、話を聞く姿勢を具体的に示しています。また、指示は、「ランドセルを片付けて」、「次は連絡帳を出して」のように1つずつとし、一度に複数のことを言わず、1つずつクリアさせています。それから、子供が話しかけてきたら、作業を止めて顔を見て聞く(「聞き上手」の姿勢を見せる)ようにしています。さらに、「こちらを向いて聞けたね」や「最後まで話が聞けたね」、「話聞いたから、迷わなかったね」などと、具体的な行動を褒めるようにしています。

ご家庭でのしつけの参考にしていただくと幸いです。そして、毎日の会話を通して、「聞く力」を育てていただきたいと思います。

